

植田 2013.春 植田正治生誕100年

植田正治
100th
ANNIVERSARY

平成25年(2013年)は、鳥取県が生んだ世界的写真家 植田正治の生誕100年にあたります。そこで、植田正治の業績を顕彰するとともに、植田が生前語っていた「写真することは楽しい」をテーマにしたフォトイベントを開催し、写真文化の振興と地域文化施設の活性化を目指して「植田正治生誕100年記念事業」を開催します。

植田正治 うえだ・しょうじ

1913-2000鳥取県境港市生まれ。写真家集団「銀龍社」などに参加。被写体をオブジェのように配した作品は「植田調」として国際的に高い評価を得ている。1996年フランス芸術文化勲章受章。87歳、逝去。



オープニングイベント 4月26日(金) 10:00~

生誕100年記念特別企画展：植田正治

◆「植田正治の〈実験精神〉」 4月27日(土)~6月30日(日)

生誕100年事業の最初の展覧会は、「実験精神」をキーワードに、初期から晩年に至る足跡をたどります。植田のチャレンジ精神、好奇心、遊び心——。70年にも及ぶ写真活動のなかで、常に新鮮な眼差しで被写体と向かい合い、自身の写真表現を真摯に求め続けた姿勢は、まさに「実験精神」に溢れています。

◆「DUNES」 7月13日(土)~9月29日(日)

◆「こどもの時間・時空を超えて~植田正治とロベール・ドアノー」 10月5日(土)~11月30日(土)

フォトフェスティバル 5月3日(金)~6日(月)4日間

◆コンサート&シンポジウム「語る、奏でる、植田正治の世界」

A.溝口肇コンサート

5月3日(金)

植田正治の作品映像とチェリスト溝口肇のコラボレーションコンサート

1987年アルル国際写真フェスティバルでの作品映像上映では、溝口氏が音楽担当。

B.シンポジウムテーマ「植田正治の作品世界」

飯沢耕太郎(写真評論家)・佐野史郎(俳優)・平間至(写真家)

金子隆一(東京都写真美術館専門調査員)

それぞれの観点から、植田正治のフォトワールドの魅力について語り合います。

◆撮影地バスツアー 5月5日(日)・6日(月)

生前撮影に同行した写真仲間と撮影地を訪ねます。

フォトコンテスト 植田正治の精神を継承し、自由な感性や独自の視点により、山陰で撮影した作品を募集
応募作品受付期間 7月1日(月)~8月26日(月)

うえだ好き 10月30日(水)~11月30日(土) 植田正治を敬愛する著名人の作品展

回顧展 植田正治に会いに来ませんか：鳥取市 7月23日(火)~29日(月)

写真と愛用した小物で植田正治の仕事風景を辿ります。

主催/植田正治生誕100年記念事業実行委員会 共催/伯耆町 伯耆町教育委員会

◆開館時間：9:00~17:00(最終入館は16:30)

◆休館日：火曜日(祝日の場合は翌日) ※4月13日(土)~26日(金)は展示替えのため休館

問い合わせ先 伯耆町立植田正治写真美術館 ☎39-8000

メール bijyutsukan@houki-town.jp

植田正治生誕100年ホームページ <http://shoujiueda.jp/>

◆水と光プロジェクト 5月4日(土)
野外映像投影イベント

大山を望む美術館を巨大映像と音楽でつむむ野外アートイベント。



◆ワークショップ 5月4日(土)・5日(日)
巨大写真を作ろう!

美術館の映像展示室を巨大なカメラにして巨大銀塩写真を作る